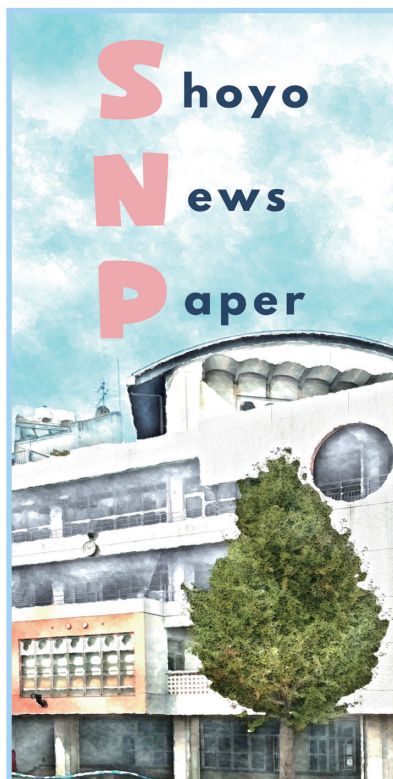




野球部 夏の大会

第106回全国高等学校野球選手権熊本大会は、7月6日から7月25日の期間でリブワーク藤崎台球場 県営八代野球場で行われました。一回戦は菊池高校との対戦。エース西村の好投により、0点で抑え快勝。2回戦八代東高校との対戦も西村投手が投げ抜き、2試合とも無失点で勝利しました。3回戦は秋季大会で優勝した国府高校との対戦。3回に2点の先制点を取りましたが、5回から相手投手の交代により流れが変わり、8回に逆転され、3回戦敗退となりました。悔しい結果にはなりましたが、3回戦まで進出できたこと、強豪校に2点先制できたことは選手にとって大きな財産となりました。この財産は、残りの学校生活や将来に絶対に生かしていきます！



令和6年度 第3号
熊本県立翔陽高等学校
生徒会広報委員会

第106回全国高等学校野球選手権熊本大会 一回戦 第一試合

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
菊池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
翔陽	0	2	0	0	0	0	0	0	×		2

先攻	後攻
投手 青木	投手 西村
捕手 新納	捕手 岩下
本塁打 青木	本塁打 本田
三塁打	三塁打 本田
二塁打	二塁打 坂田、岩政



第106回全国高等学校野球選手権熊本大会 二回戦 第二試合

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
八代東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
翔陽	0	0	1	0	0	0	0	1	×		2

先攻	後攻
投手 村山陽	投手 西村
捕手 村山輝	捕手 中林
本塁打	本塁打
三塁打	三塁打
二塁打	二塁打 中林



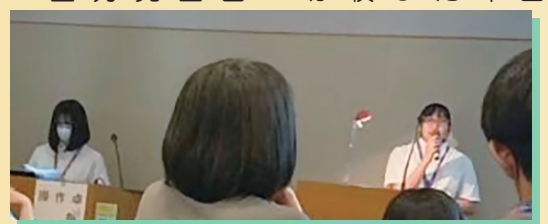
第106回全国高等学校野球選手権熊本大会 三回戦 第一試合

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
熊本国府	0	0	0	0	1	0	1	1	2		5
翔陽	0	0	2	0	0	0	0	0	0		2

先攻	後攻
投手 坂井、植田	投手 西村、坂田、出口
捕手 寺尾	捕手 岩下
本塁打 野田、岡本、梅田	本塁打
三塁打 元山、梅田、中嶋、内田	三塁打
二塁打	二塁打



高校3年間で一番の思い出となりました。放送部や全国大会出場で身に付けた発表技術やチームワーク力は、今後様々なところで生かしていきます。



放送部3年6組山口千歩さん、上入佐美桜さん、小川結花さんの3名で構成された翔陽高校チームが、校内放送研究発表会部門で第1位を受賞しました。研究発表会部門は、放送に関する研究成果を発表し合い、共有する部門です。そして熊本県代表として、7月22日、25日に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された全国大会にも出場を果たしました。惜しくも上位2校が進出できる決勝大会には進出できませんでしたが、高校3年間で一番の思い出となりました。放送部や全国大会出場で身に付けた発表技術やチームワーク力は、今後様々なところで生かしていきます。

NHK杯
全国高校
放送コンテスト

『全国商業高等学校英語スピーチコンテストに参加して』
3年2組 商業系
松本 勲武(合志中出身)
人前で何かを発表することが苦手でしたが、初めて挑戦した英語スピーチコンテストは、私にとって貴重な経験となりました。6月22日の予選に向けては、毎日少しでも英語科の先生と練習し、暗記することに力を入れていきました。本番の数日前の練習では、思うような成果が出せず焦りを感じましたが、最後まで諦めずに練習し続けた結果、最優秀賞を受賞することができました。そして、全国大会に向けて、より一層表現力の向上に力を入れました。熊本県予選で発表したときより、自分でもはるかに成長したことを実感していましたが、入賞することはできませんでした。とても悔しい思いでいっぱいでしたが、全国大会をしっかりと楽しむことができました。この貴重な経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。

6月22日に開催された令和6年度第41回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト熊本県予選スピーチ部門において、商業系3年松本勲武さんが、日頃の英語学習の成果を遺憾なく発揮し、見事最優秀賞に輝きました。熊本県代表として、9月15日に東京都全商會館で行われた全国大会に出場。発表題は「SOCIAL MEDIA FRIENDS」。

英語スピーチコンテスト

